



中部電力

タービン発電機用カーボンブラシ新規採用

新規カーボンブラシの性能評価をしています。



上：新規カーボンブラシ
下：従来品カーボンブラシ

背景・目的

- 火力発電所タービン発電機のカーボンブラシ※は、大電流が流れるため、汎用品がないことから、発電機メーカーの推奨品を使用しています。近年、同程度の性能を有する新規カーボンブラシが国内外に流通しています。このカーボンブラシは、国内電力会社では採用実績がないため、新規採用研究に取り組んでいます。

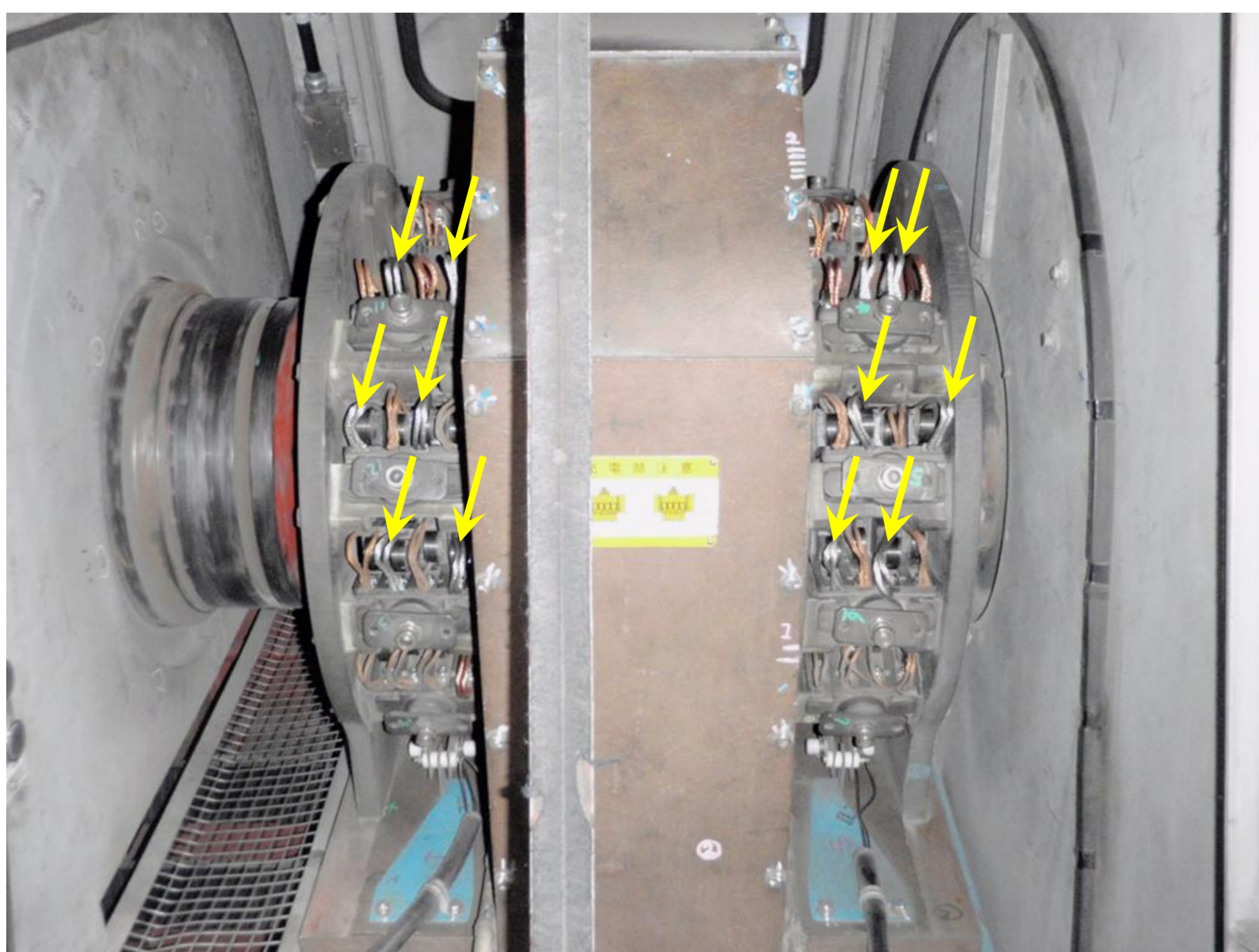
※カーボンブラシ：外部から発電機の回転ロータに電流を流し、電磁石にするための部品

特長

- 新規カーボンブラシの実機導入試験を行い、性能評価をしています。
 - 従来品と同様に装着し、発電機回転ロータとの密着性を調査します。
 - 従来品の一部・全部を、新規カーボンブラシに換えて実機導入試験を行い、カーボンブラシの電流・振動・温度等を調査します。

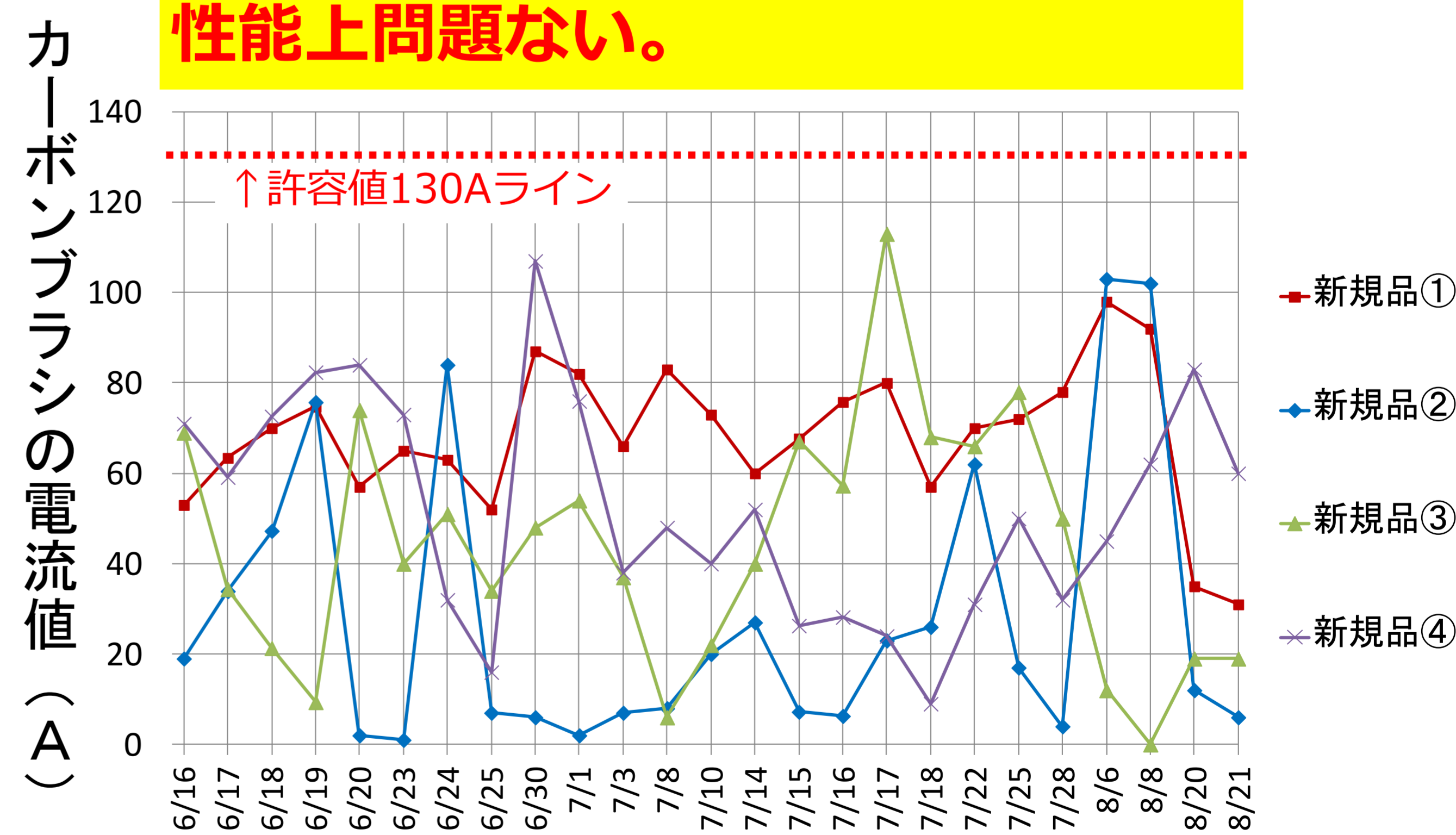
用途

- 当社火力発電所タービン発電機用カーボンブラシ資材発注時の選択肢拡大



タービン発電機のカーボンブラシ装着状況
(黄色矢印：新規カーボンブラシ)

各カーボンブラシの電流は、許容値130A以下で推移しており、性能上問題ない。



実機導入試験例 (カーボンブラシ電流)

開発者のひとこと

実機発電機での試験を進めており、現在までの結果は良好です。発電所の仲間とともに、最後まで頑張ります。